Pioneer

DVD プレーヤー

DV-420V

DVD VIDEO / COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO

HDMI

DVD ビデオのリージョンナンバー

DVD プレーヤーとDVD ビデオには発売地域ごとにリージョンナンバー(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVD ビデオディスクは、リージョンナンバーの違いにより再生できないことがあります。本機のリージョンナンバーは「2」です。

再生できるDVD ビデオのリージョンナンバー表示の例: 2 ALL 1 2 4 など

インターネットによる登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。

上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

RW COMPATIBLE

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

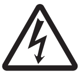
警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



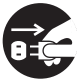
⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



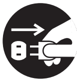
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

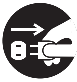
異常時の処置



万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災·感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

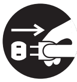


万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災·感電の原因となります。



電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災·感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

使用環境

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法

ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

手を挟まれ
ないよう注意

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検

5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1：2001 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

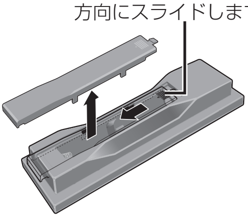
クラス 1 レーザ製品

付属品を確認する

- リモコン
- オーディオ・ビデオケーブル
- 単 3 形乾電池（R6）× 2
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

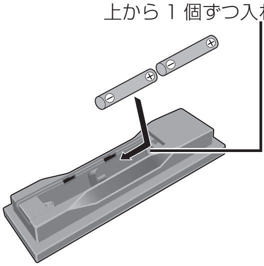
リモコンに電池を入れる

1 裏ぶたを開ける



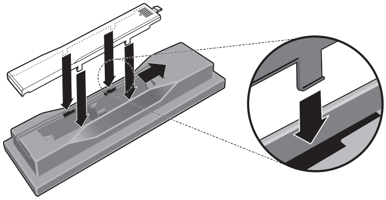
2 付属の乾電池〈単 3 形× 2 個〉を入れる

収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。



3 裏ぶたを閉める

カチッと音がするまで確実に閉めてください。



メモ

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をリモコンに入れる場合、極性表示（＋極と−極）に注意し、表示どおりに入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。
- **警告**
  電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前など、高温になる場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

再生できるディスク

DVD-Video	• 市販の DVD ビデオ • ビデオモードで記録されている DVD-R/-RW/-R DL、および DVD+R/+RW/+R DL
DVD VR	VR モードで記録されている DVD-R/-RW/-R DL
Video CD	ビデオ CD
CD(R/RW)	• 市販の音楽 CD • CD-DA フォーマットで音楽が記録されている CD-R/-RW/-ROM
JPEG	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている JPEG ファイル
DivX®	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている DivX ビデオファイル
WMV	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている WMV ファイル
WMA	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている WMA ファイル
MP3	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている MP3 ファイル
MPEG-4 AAC	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている MPEG-4 AAC ファイル
フジカラー CD	
コダックピクチャー CD	

- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- 本機は NTSC 方式に適合しています。ディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに「NTSC」と表記されているディスクを再生できます。また、PAL 方式のディスクは NTSC 方式に変換して再生します。
- マルチセッションおよびマルチボーダーには対応していません。
- マルチセッション /マルチボーダーとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッション /ボーダーデータを記録する方法です。ディスクにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッション /ボーダーといいます。
- DVDは DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- は富士フイルム株式会社の商標です。
- RW COMPATIBLE
  この表示は VR フォーマット (ビデオレコーディングフォ ーマット) 記録された DVD-RWが再生できる機能を示し ます。ただし、1 回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM 対応機器で再生が可能です。
- 本機は CPRM に対応しています。

再生できないディスク

- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- SACD
- CD-G
- ブルーレイディスク
- HD DVD

リージョンナンバー（地域番号）について

DVD プレーヤーと DVD ビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。本機のリージョンナンバーは下記のとおりです。

- DVD ビデオ：2

この番号が含まれていないディスクは再生できません。

本機で再生できるディスクは下記のとおりです。

- DVD：2(2を含む)、ALL

コピーコントロール CDについて

当製品は音楽CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDiscの再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です (DVD オーディオは除く)。
- DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷がついた面は再生すると不具合が出る場合があります。
- なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

パソコンや BD/DVD レコーダーで作成した ディスクの再生について

- アプリケーションの設定、および環境によって、パソコンで記録したディスクは再生できないことがあります。
- ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくない場合、再生できないことがあります。

再生できるファイル

- ISO9660 レベル 1/レベル 2 の CD-ROM ファイルシステムおよび拡張フォーマット (Joliet/Romeo) に準拠して記録されたディスクだけ再生できます。
- DRM(デジタル著作権管理) で保護されているファイルは再生できません。
- フォルダ名は 1 枚のディスクで最大 299フォルダまで認識できます。ファイル名は 1 フォルダ内に最大 648ファイルまで認識できます。ただし、フォルダの構成によってはフォルダまたはファイルを認識できないことがあります。
- フォルダ名およびファイル名を表示できます。ただし、半角英数字以外の文字は表示できません。半角英数字以外で入力されているフォルダ名またはファイル名は、F_001または FL_001などに置き換えて表示されることがあります。また、文字化けして表示されることもあります。

動画ファイルの対応フォーマット

Windows Media™ Video (WMV)

- 解像度：720 x 480ピクセルまで
- 拡張子「.wmv」または「.WMV」
- Windows Media Player 9 Series を使ってエンコードされた WMV9 ファイルに対応しています。
- アドバンスドプロファイルには対応していません。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

DivX

- DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには、画像データが含まれます。
- また、DivX ファイルはメニュー画面および複数の字幕 /音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。

- 特典映像を含んだ DivX® video を再生できます
- DivX®は DivX, Inc. の登録商標であり、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

- 拡張子「.avi」または「.divx」が付いているファイルだけ再生できます。また本機では、「.avi」という拡張子は MPEG-4 として認識します。MPEG-4でも DivX ビデオファイルでないときは本機で再生できないことがあります。

画像ファイルの対応フォーマット

JPEG

- 解像度：3 072 x 2 048ピクセルまで
- 拡張子「.jpg」、「.JPG」、「.jpeg」または「.JPEG」
- ベースライン JPEG に対応しています。
- Exif Ver.2.2 に対応しています。
- JPEG HD に対応しています。720p または 1 080i の高解像度で画像を出力します。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- 縦横比が異なる JPEG ファイルを再生したときは、画像の縦または横に黒い帯を付けて表示することがあります。

音声ファイルの対応フォーマット

- VBR(Variable Bit Rate) には対応していません。
- ロスレスエンコーディングには対応していません。

Windows Media™ Audio (WMA)

- サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- ビットレート：192 kbps まで
- 拡張子「.wma」または「.WMA」
- Windows Media Player Ver.7、7.1、Windows Media Player for Windows XP、または Windows Media Player 9 Series を使ってエンコードされたファイルに対応しています。

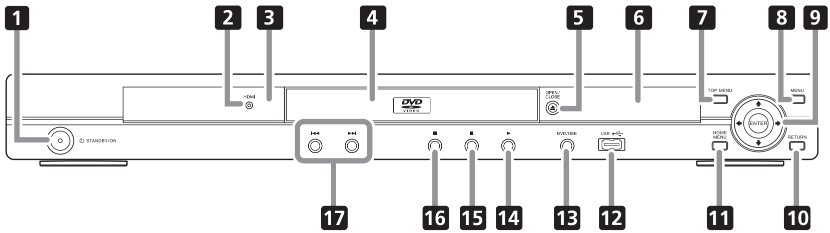
MPEG-1 オーディオレイヤー 3(MP3)

- サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- ビットレートは 128 kbps以上をおすすめします。
- 拡張子「.mp3」または「.MP3」

MPEG-4 Advanced Audio Coding(MPEG-4 AAC)

- サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz
- ビットレート：320 kbps まで
- 拡張子「.m4a」
- iTunes を使ってエンコードされたファイルに対応しています。
- エンコードした iTunes のバージョンによっては、再生できないことがあります。
- iTunes は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

本体前面部



1 ⏻ STANDBY/ON (17ページ)
電源をオンまたはオフします。

2 HDMI (13ページ)
HDMI 出力端子に接続した機器を認識しているときに点灯します。

3 リモコン受光部
約 7 m以内の距離からリモコンをここに向けて操作します。
- 直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。

4 ディスクトレイ

5 ⏏ OPEN/CLOSE (17ページ)
ディスクトレイを開閉します。

6 本体表示窓（12ページ）

7 TOP MENU
DVD ビデオのトップメニュー画面を表示します。

8 MENU
メニュー画面またはディスクナビゲーターを表示します。

9 ⬆/⬇/⬅/➡
項目を選ぶまたは設定を変更するときに使います。また、カーソルを移動します。
ENTER
選んだ項目を実行するまたは変更した設定を確定するときなどに使います。

10 RETURN
1 つ前の画面に戻ります。

11 HOME MENU
ホームメニューを表示または終了します。

12 USB端子 (A タイプ) (21ページ)

13 DVD/USB (21ページ)

14 ▶ (17ページ)

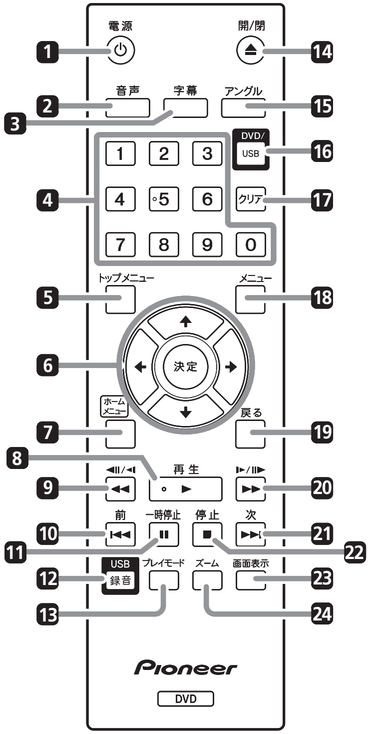
15 ■ (17ページ)

16 ❚❚ (17ページ)

17 ⏮/⏭ (19ページ)

> **⚠ 注意**
> 製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

リモコン



1 ⏻ **電源（17ページ）**

2 **音声（19ページ）**

3 **字幕（19ページ）**

4 **数字（0～ 9）ボタン**
見たい/聞きたいタイトル、チャプター、トラック、またはファイルを指定して再生するときに使います。また、メニュー画面で項目を選ぶときなどにも使います。

5 **トップメニュー**
DVDビデオのトップメニュー画面を表示します。

6 **↑/↓/←/→**
項目を選ぶまたは設定を変更するときに使います。また、カーソルを移動します。
決定
選んだ項目を実行するまたは変更した設定を確定するときなどに使います。

7 **ホームメニュー**
ホームメニューを表示または終了します。

8 **▶ 再生（17ページ）**

9 **◀◀/◀II/◀I（18ページ）**

10 **I◀◀ 前（19ページ）**

11 **II 一時停止（17ページ）**

12 **USB 録音（21ページ）**

13 **プレイモード（23ページ）**

14 **▲ 開/閉（17ページ）**

15 **アングル（19ページ）**

16 **DVD/USB（21ページ）**

17 **クリア**
選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使います。

18 **メニュー**
メニュー画面またはディスクナビゲーターを表示します。

19 **戻る**
1つ前の画面に戻ります。

20 **▶▶/I▶/II▶（18ページ）**

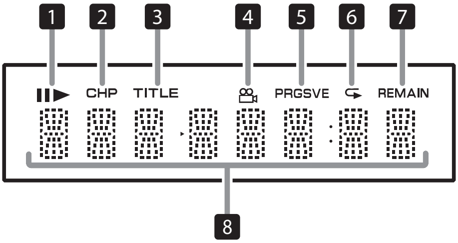
21 **▶▶I 次（19ページ）**

22 **■ 停止（17ページ）**

23 **画面表示（20ページ）**

24 **ズーム（20ページ）**

本体表示窓



1 ❚❚
一時停止しているときに点灯します。
▶
再生しているときに点灯します。

2 CHP
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

3 TITLE
タイトル番号を表示しているときに点灯します。

4 (19ページ)
他のアングルに切り換えられるときに点灯します（DVD ビデオのみ）。

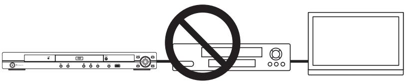
5 PRGSVE (30ページ)
コンポーネント出力が**プログレッシブ**に設定されているときに点灯します。

6 (23ページ)
リピート再生中に点灯します。

7 REMAIN
再生中のタイトル、チャプター、またはトラックの残り時間を表示しているときに点灯します。

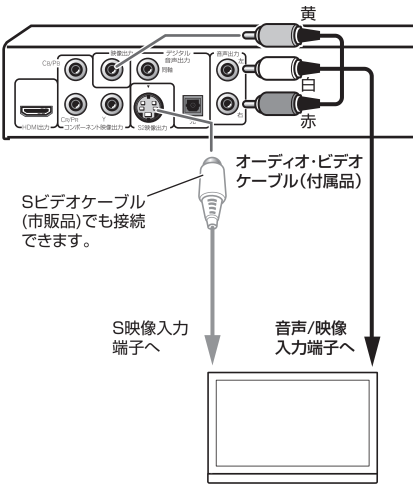
8 **カウンター表示**
タイトル、チャプター、トラック、またはファイル番号や経過時間などを表示します。

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピー保護技術に対応しています。そのため、DVD レコーダー / ビデオデッキを通してテレビと接続したり、プレーヤーの出力を DVD レコーダー / ビデオデッキで録画して再生すると、映像が正しく映らないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピー保護によって映像が正しく映らないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



付属のオーディオ・ビデオケーブルを使って接続する

本体背面部



▲ テレビ

HDMI ケーブルを使って接続する

1 本のケーブルで、映像と音声を劣化のないデジタル信号で HDMI 対応テレビに伝送できます。接続後、HDMI 対応テレビに合わせて本機の解像度と HDMI カラーを設定してください。HDMI 対応テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

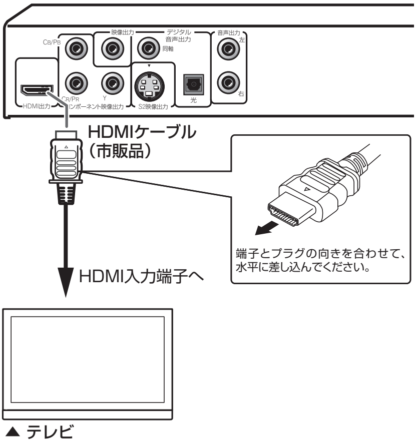
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

メモ

- 本機のインターフェースは、High-Definition Multimedia Interface Specification に基づいて設計されています。
- HDMI 対応機器と接続すると、本体表示窓に解像度が表示されます。
- 本機の **HDMI 出力**端子から出力する映像の解像度は手動で変更します。**HDMI 画素数**の設定を変更します（30ページ）。2 台分の設定を記憶できます。
- 本機は HDMI 対応機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続すると正しく動作しないことがあります。

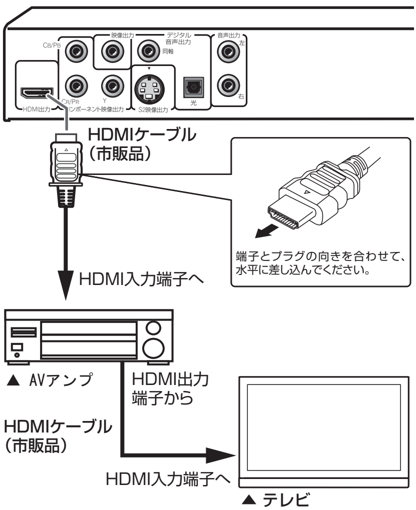
テレビと接続する

本体背面部



AV アンプと接続する

本体背面部



HDMI 出力端子から出力される映像 /音声について

本機の HDMI 出力端子から出力できる映像（解像度）について

- 初期設定の **HDMI 画素数**で、お好みの解像度を選択してください（30ページ）。
- 720× 480ピクセルのプログレッシブまたはインターレース映像
- 1 280× 720ピクセルのプログレッシブ映像
- 1 920× 1 080ピクセルのプログレッシブまたはインターレース映像

本機の HDMI 出力端子から出力できる音声について

- 44.1 kHz ～ 96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2 チャンネルリニア PCM 音声（2 チャンネルダウンミックスを含む）
- ドルビーデジタル 5.1 チャンネル音声
- DTS 5.1 チャンネル音声
- MPEG 音声

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- 米国特許 5451942 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS および記号は DTS 社の登録商標であり、また、DTS Digital Out および DTS のロゴは DTS 社の商標です。製品はソフトウェアを含んでいます。© DTS 社 不許複製。

コントロール機能について

- コントロール機能に対応しているパイオニア製のフラットテレビや AV 機器 (AV アンプなど) と本機を HDMI ケーブルで接続すると、フラットテレビなどから本機を操作できます。
- フラットテレビなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コントロール機能を使うには

- コントロール機能は、**HDMI 出力**端子に接続されているすべての機器のコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。
- 接続および各機器の設定が終わったら、本機の映像がフラットテレビに出力されているか必ず確認してください (接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください)。本機の映像がフラットテレビに正しく出力されていないと、コントロール機能が正常に動作しないことがあります。
- コントロール機能を使うときは High Speed HDMI™ケーブルをお使いください。それ以外の HDMI ケーブルではコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
- 機器によってはコントロール機能という機能名が「KURO LINK」または「HDMI コントロール」と表記されていることがあります。
- 他社の機器と HDMI ケーブルで接続しても、コントロール機能は働きません。

コントロール機能でできること

フラットテレビのリモコンで本機を操作する

- フラットテレビから、本機の再生、停止、メニューの表示などの操作ができます。操作できる機能について、詳しくはフラットテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機の再生映像がフラットテレビの画面に表示される (オートセレクト機能)

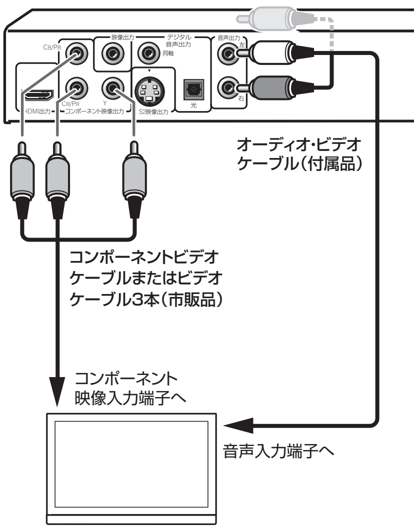
- 本機の再生を始める、またはホームメニューやディスクナビゲーターなどを表示すると、フラットテレビや AV 機器 (AV アンプなど) の入力が自動で切り換わります。入力が切り換わると、再生画面、ホームメニュー、またはディスクナビゲーターなどがフラットテレビに表示されます。

フラットテレビの電源が自動でオンに切り換わる (電源連動機能)

- 本機の再生を始める、またはホームメニューやディスクナビゲーターなどを表示すると、フラットテレビの電源がオフだった場合は、自動でオンになります。

コンポーネントビデオケーブルを使って接続する

本体背面部

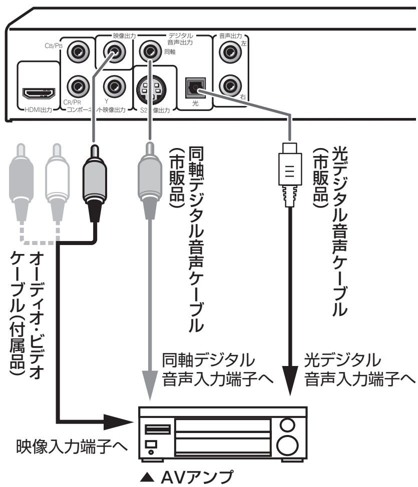


▲ テレビ

デジタル音声ケーブルを使って接続する

- **デジタル音声出力**（**光**/**同軸**）端子にドルビーデジタル、または DTS 音声に対応している AV アンプなどを接続します。
- 光デジタル音声ケーブルまたは同軸デジタル音声ケーブルのいずれかを使って接続します。
- 初期設定で、AV アンプが対応している音声に設定してください（28ページ）。
- AV アンプとテレビ、および AV アンプとスピーカーの接続については、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

本体背面部



メモ

デジタル音声出力（**光**）端子に接続するときは、端子に付いているキャップを抜いてから端子の向きを合わせて接続してください。接続しないときはキャップを付けたままお使いください。

ディスクまたはファイルを再生する

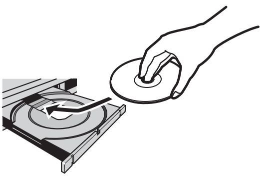
あらかじめテレビの電源をオンにして、テレビの入力を切り換えてください。

1 電源をオンにする

⏻ **電源**ボタンを押します。

2 ディスクトレイを開閉して、ディスクをセットする

⏏ **開 /閉**ボタンを押します。
印刷面を上にしてディスクをセットしてください。



3 再生を始める

▶ **再生**ボタンを押します。

- 一時停止するには、再生中に ❚❚ **一時停止**ボタンを押します。
- 停止するには、再生中に ■ **停止**ボタンを押します。
- 電源をオフするには、⏻ **電源**ボタンを押します。

メモ

- セットすると、自動で再生を始めるディスクがあります。
- テレビ画面の上下に黒い帯が付くディスクがあります。

メニュー画面が表示されたとき

再生を始めると、自動でメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の内容や操作方法は、ディスクによって異なります。

いろいろな機能を使って再生する

ディスクやファイルの種類によっては、できない機能もあります。

停止した場所から再生する（リジューム再生）	DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW) DivX® WMV	• 再生中に ■ **停止**ボタンを押すと停止した場所を記憶します。▶ **再生**ボタンを押すと、停止した場所から再生します。 • リジューム再生を解除するには、停止中に ■ **停止**ボタンを押します。 • リジューム再生できないディスクもあります。
取り出したディスクの停止した場所を記憶する（ラストメモリー）	DVD-Video Video CD	• 取り出した DVD ビデオ（5 枚分）およびビデオ CD（1 枚分）の、停止した場所を記憶します。もう一度セットして ▶ **再生**ボタンを押すと、取り出す前に停止した場所から再生します。 • ラストメモリーを解除するには、停止中に ■ **停止**ボタンを押します。 • 停止した場所を記憶させたくないときは、再生中に ▲ **開 / 閉**ボタンを押してディスクを取り出してください。 • 停止した場所を記憶できないディスクもあります。記憶できる枚数の制限を超えたときは、古い記憶に上書きされます。
早送り / 早戻しする（サーチ）	DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW) DivX® WMV WMA MP3 MPEG-4 AAC	• 再生中に ◀◀/◀II/◀I ボタンまたは ▶▶/I▶/II▶ ボタンを押します。 • 押すたびに速さを切り換えられます。速さの段階は、ディスクまたはファイルによって異なります。 • DVD ビデオおよび DVD VR では、再生中に ▶▶/I▶/II▶ ボタンを 1 回押すと、映像と音声を通常の約 1.4 倍の速度で再生します。ただし、音声が出力されなかったり、とぎれることがあります。 • 通常の再生に戻すには、▶ **再生**ボタンを押します。
コマ送り / コマ戻しする	DVD-Video DVD VR Video CD DivX® WMV	• 一時停止中に ◀◀/◀II/◀I ボタンまたは ▶▶/I▶/II▶ ボタンを押します。 • 押すたびにコマ送り / コマ戻しします。 • 通常の再生に戻すには、▶ **再生**ボタンを押します。 • コマ送り / コマ戻し再生中は、音声が出力されません。 • コマ戻し再生中に映像が揺れることがあります。 • ビデオ CD および動画ファイルでは、コマ戻し再生できません。
スロー再生する	DVD-Video DVD VR Video CD DivX® WMV	• 一時停止中に ◀◀/◀II/◀I ボタンまたは ▶▶/I▶/II▶ ボタンを押し続けます。 • テレビ画面に**スロー**と表示されるまで押し続けます。 • 押すたびに速さを切り換えられます。速さの段階は、ディスクまたはファイルによって異なります。 • 通常の再生に戻すには、▶ **再生**ボタンを押します。 • スロー再生中は音声が出力されません。 • ビデオ CD および動画ファイルでは、逆方向のスロー再生ができません。

頭出し（スキップ）する	DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW) DivX® WMV WMA MP3 MPEG-4 AAC	• 再生中に ⏮ **前**ボタンまたは ⏭ **次**ボタンを押します。 • ⏭ **次**ボタンを押すと、次のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルの先頭に進みます。 • ⏮ **前**ボタンを押すと、再生中のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルの先頭に戻ります。2 回続けて押すと、1 つ前に戻ります。ただし、ランダム再生中は、前のタイトル、チャプター、またはトラックには戻れません。 • ビデオ CD の PBC 再生中は、操作方法が異なります。ディスクジャケットなどで確認してください。
タイトル、チャプター、またはトラックを指定して再生する	DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW)	• **数字 (0～9)** ボタンで再生したいタイトル、チャプター、またはトラック番号を入力して**決定**ボタンを押します。 • 番号を入力してから 2 秒以上経過すると、自動で再生を始めます。 • DVD ビデオのチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターだけ指定できます。
音声を切り換える	DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW) DivX®	• 複数の音声が収録されているディスクまたはファイルでは、再生中に音声を切り換えられます。 • 再生中に**音声**ボタンを押します。 • 押すたびに音声が切り換わります。 • 収録されている音声の種類は、ディスクまたはファイルによって異なります。 • メニュー画面で音声を切り換える DVD ビデオがあります。 • 音声を切り換えたときに映像が一瞬静止することがあります。 • リジューム再生またはラストメモリーを解除したときは、**音声言語**の設定に戻ります（31ページ）。
字幕を切り換える	DVD-Video DivX®	• 複数の字幕が収録されている DVD ビデオまたは DivX では、再生中に字幕を切り換えられます。 • 再生中に**字幕**ボタンを押します。 • 押すたびに字幕が切り換わります。 • 収録されている字幕の種類は、ディスクまたはファイルによって異なります。 • 字幕が収録されていないときは、-/-が表示されます。 • メニュー画面で字幕を切り換える DVD ビデオがあります。 • リジューム再生またはラストメモリーを解除したときは、**字幕言語**の設定に戻ります（31ページ）。
アングルを切り換える（マルチアングル）	DVD-Video	• 複数のアングルが収録されている DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えられます。 • 再生中に**アングル**ボタンを押します。 • メニュー画面でアングルを切り換えられる DVD ビデオもあります。 • 複数のアングルが収録されている場面でマークがテレビ画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、**アングルマーク表示**を**オフ**に設定します（31ページ）。

映像（画像）を拡大する	DVD-Video DVD VR Video CD DivX® WMV JPEG	• **ズーム**ボタンを押します。 • 拡大する場所（ズームエリア）が表示されます。 • ⬆/⬇/⬅/➡ボタンでズームエリアを移動できます。 • 押すたびに倍率（2 倍 →4 倍 →通常）が切り換わります。 • JPEG ファイルのスライドショー再生中は、拡大する場所（ズームエリア）が表示されません。 • JPEG ファイルを拡大しているときは、▶ **再生**ボタンを押して通常のスライドショー再生に戻すこともできます。
画像を回転（反転）する	JPEG	• スライドショー再生中に ⬆/⬇/⬅/➡ボタンを押します。 • ⬆ボタンを押すと、画像の上下が反転します。 • ⬇ボタンを押すと、画像の左右が反転します。 • ⬅ボタンを押すたびに、画像が反時計回りに 90° 回転します。 • ➡ボタンを押すたびに、画像が時計回りに 90° 回転します。 • 通常のスライドショーに戻すには、▶ **再生**ボタンを押します。
ディスクまたはファイルの情報を見る	DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW) DivX® WMV WMA MP3 MPEG-4 AAC	• 再生中に**画面表示**ボタンを押します。 • 経過時間や残量などが表示されます。 • ディスクまたはファイルによっては、押すたびに表示内容が切り換わります。 • 情報を消すには、消えるまで**画面表示**ボタンを数回押します。 • ビデオ CD の PBC 再生中は、一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください（下記）。 • **画面表示**を**オフ**に設定しているときは、**画面表示**ボタンを押しても情報は表示されません (31ページ)。
ビデオ CD をメニュー画面から再生する（PBC再生）	Video CD	• ビデオ CD をメニュー画面に従って再生することを PBC（プレイバックコントロール）再生といいます。ディスクによって表示内容と操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドなどもあわせてご覧ください。 • メニュー画面を表示するには、PBC 再生対応ディスクをセットして、▶ **再生**ボタンを押します。 • PBC 再生を始めるには、メニュー画面を表示中に**数字（0 ～ 9）**ボタンでトラックを選んで、**決定**ボタンを押します。 • メニュー画面に戻るには、再生中に**戻る**ボタンを押します。 • ページを切り換えるには、⏮ **前**ボタンまたは ⏭ **次**ボタンを押します。 • メニュー画面を表示しないで再生する（PBC 再生を解除して再生する）には、停止中に**数字（0 ～ 9）**ボタンでトラックを選んで**決定**ボタンを押します（または停止中に ⏮ **前**ボタンまたは ⏭ **次**ボタンでトラックを選びます）。

USB機器に記録されているファイルを再生する

- USB 機器を認識できない、ファイルを再生できない、または USB 機器に電源を供給できないことがあります。詳しくは、40ページの「USB 機器を接続しているとき」をご覧ください。
- すべての USB 機器に記録されているファイルの再生、および USB 機器への電源供給は保証できません。また、万一本機に接続したことで USB 機器のファイルが損失しても、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。

1 電源をオンにする

⏻ **電源**ボタンを押します。

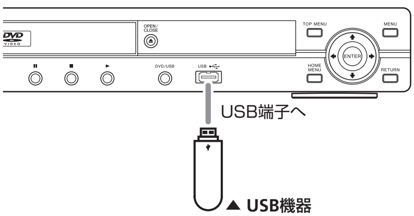
2 入力を USB モードに切り換える

DVD/USBボタンを押します。
本体表示窓に **USB MODE**と表示されます。

3 USB 機器を接続する

ディスクナビゲーターが自動で表示されます。

▼ 本体前面部



4 再生を始める

⬆/⬇/⬅/➡ボタンでファイルを選んで、**決定**ボタンを押します。

メモ

- USB 機器は電源をオフにしてから取り外してください。
- 次に電源をオンしても、入力は USB モードのままです。DVD モードに戻すときは **DVD/USB**ボタンを押します（または、⏏ **開 /閉**ボタンを押してディスクトレイを開けます）。

音楽 CD のトラックを USB 機器に録音する

- 本機にセットした音楽 CD のトラックを USB 端子に接続した USB 機器に録音できます。
- USB 機器に音楽 CD のトラックを録音できないことがあります。詳しくは、40 ページの「USB 機器を接続しているとき」をご覧ください。

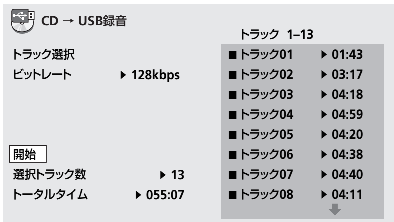
すべてのトラックを録音する

1 音楽 CD をセットする

- 自動で再生を始めたときは、■ **停止**ボタンを押して、再生を停止してください。

2 CD → USB 録音画面を表示する

USB 録音ボタンを押します。



3 録音を始める

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで **開始**を選んで、**決定**ボタンを押します。

トラックを選んで録音する

1 音楽 CD をセットする

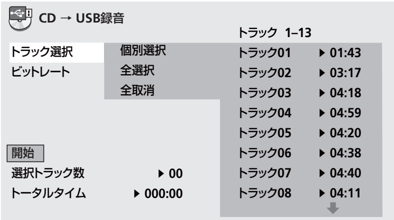
- 自動で再生を始めたときは、■ **停止**ボタンを押して、再生を停止してください。

2 ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

3 CD → USB 録音を選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。



4 トラック選択 → 個別選択 →録音したいトラックを選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選びます。

- **個別選択**：1 トラックずつ選びます。
- **全選択**：すべてのトラックを選びます。
- **全取消**：トラックを選んでいない状態に戻します。

5 ビットレート（転送レート）を選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

- 128kbps、192kbps、 ま た は 320kbpsから選びます。

6 録音を始める

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで **開始**を選んで、**決定**ボタンを押します。

メモ

- 音楽 CD の停止中だけ **CD → USB 録音**を選べます。
- 録音が終わると、USB 機器に自動で PIONEER フォルダーが作成されます。録音したトラックは、このフォルダーに保存されます。

ディスクナビゲーターを使って再生する

ディスクを再生する

DVD-Video DVD VR Video CD

1 ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2 ディスクナビゲーターを選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

3 ディスクナビゲーターの種類を選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

- ディスクナビゲーターが表示されます。
- ディスクナビゲーターの表示内容はディスクによって異なります。

4 タイトル、チャプター、またはトラックを指定して再生する

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

- ページを切り換えるには、⏮ **前**ボタンまたは ⏭ **次**ボタンを押します。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻る**ボタンを押します。
- ディスクナビゲーターを終了するには、**ホームメニュー**ボタンを押します。

メモ

- ディスクナビゲーターを表示できない DVD ビデオもあります。
- ビデオ CD の PBC 再生中は、ディスクナビゲーターを表示できません。PBC 再生を解除してください（20ページ）。

ファイルを再生する

DivX® WMV WMA MP3 MPEG-4 AAC JPEG

1 ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2 ディスクナビゲーターを選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

3 フォルダーを選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

4 ファイルを選んで再生する

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

- JPEG ファイルを再生したときは、画像が自動で切り換わります（スライドショー再生）。
- 1 つ前の画面に戻るには、⬅ボタンを押します（📁 -- を選んで、**決定**ボタンを押しても戻ります）。
- ディスクナビゲーターを終了するには、**ホームメニュー**ボタンを押します。

メモ

1 枚のディスクに音声ファイルと JPEG ファイルが記録されているときは、同時に再生できます。音声ファイルを選んでから、JPEG ファイルを選んで再生してください。

プレイモード機能を使って再生する

プレイモード機能が働かないディスクまたはファイルもあります。

● プレイモード画面を表示する

再生中に**プレイモード**ボタンを押します。

- ホームメニューから**プレイモード**を選んで、**決定**ボタンを押しても表示できます。
- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示できません。PBC 再生を解除してください（20ページ）。

指定した箇所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW)

1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を、繰り返し再生します。

1 プレイモード画面を表示する

再生中に**プレイモード**ボタンを押します。

2 A-B リピートを選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ボタンを押します。

3 A-B リピート再生を始める箇所を選ぶ

⬆/⬇ボタンで **A（開始箇所）**を選んで、**決定**ボタンを押します。

4 A-B リピート再生を終了したい箇所を選ぶ

⬆/⬇ボタンで **B（終了箇所）**を選んで、**決定**ボタンを押します。

A-B リピート再生が始まります。

- A-B リピート再生を解除するには、**オフ**を選んで、**決定**ボタンを押します。

繰り返し再生する（リピート再生）

DVD-Video DVD VR Video CD CD(R/RW) DivX® WMV

1 プレイモード画面を表示する

再生中に**プレイモード**ボタンを押します。

2 リピートを選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ボタンを押します。

3 リピート再生の種類を選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ボタンを押します。

リピート再生が始まります。

- リピート再生を解除するには、**リピートオフ**を選んで、**決定**ボタンを押します（再生を停止すると、自動で解除されます）。
- リピート再生の種類は、ディスクおよびファイルによって異なります。

順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)

1　プレイモード画面を表示する
プレイモードボタンを押します。

2　ランダムを選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ ボタンを押します。

3　ランダム再生の種類を選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ ボタンを押します。
ランダム再生が始まります。

- ランダム再生を解除するには、**ランダムオフ**を選んで、**決定**ボタンを押します（再生を停止すると、自動で解除されます）。
- ランダム再生の種類は、ディスクおよびファイルによって異なります。

メモ

ランダム再生中は、同じタイトル、チャプター、またはトラックを再生することがあります。

お好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)　DivX®
WMV　WMA　MP3　MPEG-4 AAC

1　プレイモード画面を表示する
プレイモードボタンを押します。

2　プログラムを選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ ボタンを押します。

3　プログラム入力・編集を選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

- プログラム入力・編集画面は、ディスクまたはファイルによって異なります。

4　再生したいタイトル、チャプター、トラック、またはファイルを選ぶ
⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

- プログラムを追加するには、追加する位置（プログラムステップ）を選んでから、タイトル、チャプター、またはトラックを選んで、**決定**ボタンを押します（ファイルのときは、一番下に追加されます）。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻る**ボタンを押します。入力中に戻ると、プログラムした内容は削除されます。
- プログラムを削除するには、削除したいプログラムステップを選んで、**クリア**ボタンを押します。

5　再生を始める
▶ **再生**ボタンを押します。

- すでにプログラムされている内容を再生するには、プログラム画面から**プログラム再生の開始**を選んで、**決定**ボタンを押します。
- 通常の再生に戻すには、プログラム画面から**プログラム再生の解除**を選んで、**決定**ボタンを押します。プログラムした内容は残ります。
- プログラムした内容をすべて消去するには、プログラム画面から**プログラムの全消去**を選んで、**決定**ボタンを押します。

メモ

- プログラムした内容を繰り返し再生できます。プログラム再生中にプレイモード画面の**リピート**から**プログラムリピート**を選びます（23ページ）。
- プログラムした内容は、順不同には再生できません（プログラム再生中は、ランダム再生できません）。

番号または時間を指定して再生する（サーチモード）

DVD-Video　DVD VR　Video CD　CD(R/RW)
DivX®　WMV

タイトル、チャプター、またはトラックの番号や時間を指定して再生できます。

1　プレイモード画面を表示する
プレイモードボタンを押します。

2　サーチモードを選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは ➡ ボタンを押します。

3　サーチモードの種類を選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。
- サーチモードの種類は、ディスクまたはファイルによって異なります。

4　再生したいタイトル、チャプター、またはトラックの番号または時間を入力する
数字 (0 ～ 9) ボタンで入力して、**決定**ボタンを押します（たとえば、1 時間 4 分（64 分 00 秒）を指定するときは、**6**、**4**、**0**、**0**を入力します）。
再生が始まります。

メモ
- メニュー画面で指定できるDVDビデオもあります。
- 動画ファイルでは時間だけ指定できます（**タイムサーチ**だけできます）。
- DVD+R/+RWでは **タイムサーチ**できません。

音場を設定する

1　ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

2　音場設定を選ぶ
⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

3　設定を変更する
⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻る**ボタンを押します。

4　変更を確定する
ホームメニューボタンを押します。
変更した設定が保存されます。

メモ
- ディスクまたはファイルによっては、効果が少ないことがあります。
- **デジタル音声出力**（**光** /**同軸**）端子および **HDMI 出力**端子から出力される音声にも効果があります。
  ただし、ドルビーデジタル、DTS、または MPEG 音声を出力しているときは効果がありません。

音場設定の項目

設定項目（設定値）	
サウンドレトリバー（大 /小 /*オフ*）	• WMA、MP3、 または MPEG-4 AAC 音声を高音質で再生します。拡張子‘.wma’、‘.mp3’、または‘.m4a’が付いているファイルにだけ有効です。 • 各ファイルに効果があります。設定を切り換えて、良い効果が得られる設定を選んでください。
イコライザー（*オフ* /ロック /ポップ /ライブ /ダンス /テクノ /クラシック /ソフト）	聞く音楽のジャンルに合わせて選んでください。
バーチャルサラウンド（オン /*オフ*）	• 2 つのスピーカーで、臨場感のある立体音場を再現できます。 • **オン**に設定しているときは、96 kHz 以上のリニア PCM 音声が 48 kHz に変換されます。
オーディオDRC（大 /中 /小 /*オフ*）	• 大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。たとえば、深夜に映画を見るときに変更します。 • ドルビーデジタル音声にだけ効果があります。 • 接続しているテレビ、AV アンプ、またはスピーカーの音量などによって効果が異なります。切り換えながら最も効果のある設定に変更してください。
ダイアローグ（大/中/小/*オフ*）	セリフの音が小さくて聴き取りにくいときに変更します。

斜体字はお買い上げ時の設定です。

サウンドレトリバーについて

- 音声データは圧縮される過程で音質が低下します。 サウンドレトリーバー機能は、自動で圧縮された音声の音質を向上して、CD 並みの音質を再現します。

画質を調整する

1　ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2　画質調整を選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

3　設定を変更する

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

- 1 つ前の画面に戻るには、**戻る**ボタンを押します。

4　変更を確定する

ホームメニューボタンを押します。
変更した設定が保存されます。

メモ

- 接続しているテレビ、ディスク、またはファイルによっては効果が少ないことがあります。
- **HDMI 出力**端子から出力される映像にも効果があります。

画質調整の項目

設定項目（設定値）	
シャープネス (ファイン / ***標準*** /ソフト)	画像の鮮明度を調整します。
ブライトネス (-20～ +20)	画面の明るさを調整します。
コントラスト (-16～ +16)	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ガンマ (-3～ +3)	画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい (緑 9～赤 9)	緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ (-9～ +9)	色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

- ***斜体字***はお買い上げ時の設定です。
- **ブライトネス**、**コントラスト**、**ガンマ**、**色あい**、および**色の濃さ**のお買い上げ時の設定は ***0***です。

初期設定画面を操作する

再生中は**初期設定**を選べません。ディスクを停止してから操作してください。

1 ホームメニューを表示する

ホームメニューボタンを押します。

2 初期設定を選ぶ

↑/↓/←/→ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

3 項目を選んで設定を変更する

↑/↓/←/→ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

メモ

- **HDMI出力**、**HDMI画素数**および**HDMIカラー**は、本機とHDMI対応機器をHDMIケーブルで接続しているときだけ設定します。
- **デジタル音声出力**および**コンポーネント出力**は、本機とHDMI対応機器をHDMIケーブルで接続しているときは設定できません。
- ***斜体字***はお買い上げ時の設定です。

コンポーネント出力およびHDMI画素数の設定をお買い上げ時に戻す

1 本機の電源をオフにする

⏻ **電源**ボタンを押します。

2 ⏮ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ONボタンを押す

本体前面部のボタンで操作します。電源がオンします。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 本機の電源をオフにする

⏻ **電源**ボタンを押します。

2 ■ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ONボタンを押す

本体前面部のボタンで操作します。

デジタル音声出力の設定

設定項目	設定内容	
HDMI 出力	LPCM (2CH)	マルチチャンネル音声を、2ch のリニア PCM 音声に変換して出力します。接続している HDMI 対応機器が、マルチチャンネル音声に対応していないときに選びます。
	自動	接続している HDMI 対応機器が対応している音声（ドルビーデジタル、DTS、MPEG、リニア PCM）を出力します。接続している HDMI 対応機器が対応していない音声は、リニア PCM に変換して出力します。
	オフ	**HDMI 出力**端子から音声を出力しません。
• 本機と HDMI 対応機器を、HDMI ケーブルを使って接続しているときだけ設定を変更できます。 • 接続している HDMI 対応機器が DTS 音声に対応していないときは、DTS 音声を出力しません (DTS 音声をリニア PCM 音声に変換して出力しません)。		
デジタル出力	***オン***	**デジタル音声出力**端子から音声を出力します。
	オフ	**デジタル音声出力**端子から音声を出力しません。
デジタル出力を**オフ**に設定すると、**HDMI 出力**端子から出力される音声は、リニア PCM に変換されます。		
DD Digital 出力	***DD Digital***	ドルビーデジタル音声を出力します。接続している AV アンプがドルビーデジタル音声に対応しているときに選びます。
	DD Digital > PCM	ドルビーデジタル音声をリニア PCM 音声に変換して出力します。接続している AV アンプがドルビーデジタル音声に対応していないときに選びます。
DTS 出力	***DTS***	DTS 音声を出力します。接続している AV アンプが DTS 音声に対応しているときに選びます。
	オフ	DTS 音声を出力しません。接続している AV アンプが DTS 音声に対応していないときに選びます。
接続している AV アンプが DTS 音声に対応していないときは**オフ**に設定してください。**DTS**に設定すると、ノイズが発生することがあります。		
96kHz PCM 出力	***96kHz > 48kHz***	96 kHz 音声を 48 kHz/44.1 kHz 音声に変換して出力します。接続している AV アンプが 96 kHz 音声に対応していないときに選びます。
	96kHz	96 kHz 音声を出力します。接続している AV アンプが 96 kHz 音声に対応しているときに選びます。
MPEG 出力	MPEG	MPEG 音声を出力します。接続している AV アンプが MPEG 音声に対応しているときに選びます。
	MPEG > PCM	MPEG 音声をリニア PCM 音声に変換して出力します。接続している AV アンプが MPEG 音声に対応していないときに選びます。

斜体字はお買い上げ時の設定です。
本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続しているときは、**DD Digital 出力**、**DTS 出力**、**96kHz PCM 出力**、**MPEG 出力**は変更できません（設定項目が灰色で表示されます）。設定を変更したいときは、**HDMI 出力**を**オフ**に設定してください。

HDMI 出力の設定と出力される音声の種類について

音声の種類		HDMI 出力の設定	
		LPCM (2CH)	自動
DVD-Video DVD VR	ドルビーデジタル	2ch 音声に変換	ドルビーデジタル [1]
	ドルビーデジタルカラオケ	左 / 右	ドルビーデジタル [1]
	リニア PCM	左 / 右	左 / 右
	DTS	出力しません	DTS[2]
	MPEG	左 / 右	MPEG[1]
CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC		左 / 右	左 / 右
DTS-CD		出力しません	DTS[2]
Video CD		左 / 右	左 / 右

1　接続している HDMI 対応機器がドルビーデジタルまたは MPEG 音声に対応していないときは、自動でリニア PCM 音声に変換して出力します。
2　接続している HDMI 対応機器が DTS 音声に対応していないときは、DTS 音声を出力しません (DTS 音声をリニア PCM 音声に変換して出力しません)。

映像出力の設定

設定項目	設定内容	
テレビ画面	***4:3 (レターボックス)***	テレビ画面の上下に黒い帯を付けて、16:9 の映像を 4:3 の画面で見るときに選びます。
	4:3 (パンスキャン)	16:9 の映像の左右を切り取って、4:3 の画面全体に映像を映して見るときに選びます。
	16:9 (ワイド)	ワイド（16:9）テレビと接続しているときに選びます。
	16:9 (シュリンク)	ハイビジョン対応テレビ（16:9）で 4:3 の映像を見るときに選びます。テレビ画面の左右に黒い帯を付けて正しく表示します。本機とテレビを HDMI ケーブルを使って接続して、**HDMI 画素数**を **1920x1080p**、**1920x1080i**、または **1280x720p**に設定しているときだけ選べます。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき 		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき 	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像 	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像 
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像 	16:9(シュリンク)	16:9の映像　4:3の映像 

ディスクが画面の縦横比の切り換えを許可しているときだけ設定が反映されます。ディスクのジャケットなどで確認してください。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">コンポーネント出力</td><td>プログレッシブ</td><td>コンポーネント映像出力端子に、プログレッシブ映像信号に対応しているテレビ、またはプロジェクターを接続しているときに選びます。本体表示窓の PRGSVEが点灯します。</td></tr>
<tr><td>インターレース</td><td>コンポーネント映像出力端子に、プログレッシブ映像信号に対応していないテレビ、またはプロジェクターを接続しているときに選びます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">• プログレッシブを選んで決定ボタンを押すと、確認画面が表示されます。設定を変更するときは、はいを選んで決定ボタンを押します。変更しないときは、いいえを選んで決定ボタンを押します。
• プログレッシブとインターレースを切り換えるときに映像が乱れることがあります。
• HDMI 画素数を 720x480iに設定しているときは、インターレースに設定されます。
• プログレッシブに設定したあとに映像が映らなくなったときは、インターレースに戻してください。戻す方法については、27ページの「コンポーネント出力および HDMI 画素数の設定をお買い上げ時に戻す」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">HDMI 画素数</td><td>720x480i</td><td>720x480 ピクセルのインターレース映像を出力します。</td></tr>
<tr><td>720x480p</td><td>720x480 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。</td></tr>
<tr><td>1280x720p</td><td>1 280x720 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。</td></tr>
<tr><td>1920x1080i</td><td>1 920x1 080 ピクセルのインターレース映像を出力します。</td></tr>
<tr><td>1920x1080p</td><td>1 920x1 080 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">• 設定を変更すると、映像が乱れるまたは映像が映るまでに時間がかかることがあります。
• 設定を変更すると、確認画面が表示されます。映像が正しく映っているときは、はいを選んで決定ボタンを押します。正しく映っていないときは、いいえを選んで決定ボタンを押します。
• 設定を変更したあとに映像が正しく映らないときは、720x480pに戻してください。27ページの「コンポーネント出力および HDMI 画素数の設定をお買い上げ時に戻す」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">HDMI カラー</td><td>RGB フルレンジ</td><td>色が濃くなります。黒が沈んで見えるときに選びます。</td></tr>
<tr><td>RGB</td><td>色が薄くなります。黒が浮いて見えるときに選びます。</td></tr>
<tr><td>色差</td><td>HDMI 対応テレビと接続しているときに選びます。色差（8 bit）フォーマットで伝送されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">本機と HDMI 対応機器を、HDMI ケーブルを使って接続しているときだけ設定を変更できます。</td></tr>
</table>

斜体字はお買い上げ時の設定です。

言語の設定

- 選んだ言語に変更されないディスクもあります。
- 言語をメニュー画面で変更するディスクもあります。メニュー画面で言語を変更してください。

設定項目	設定内容	
音声言語	***日本語***	DVD ビデオの音声を日本語で聞くときに選びます。
	英語	DVD ビデオの音声を英語で聞くときに選びます。
	その他の言語	136言語から選びます。42ページの「言語コード表」を見ながら操作します。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。
字幕言語	***日本語***	DVD ビデオの字幕を日本語で表示するときに選びます。
	英語	DVD ビデオの字幕を英語で表示するときに選びます。
	その他の言語	136言語から選びます。42ページの「言語コード表」を見ながら操作します。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。
DVD メニュー言語	***字幕言語に連動***	DVD ビデオのメニュー画面を**字幕言語**で選んでいる言語で表示するときに選びます。
	日本語	DVD ビデオのメニュー画面を日本語で表示するときに選びます。
	英語	DVD ビデオのメニュー画面を英語で表示するときに選びます。
	その他の言語	136言語から選びます。42ページの「言語コード表」を見ながら操作します。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。
字幕表示	***オン***	字幕を表示するときに選びます。
	オフ	字幕を表示しないときに選びます。ただし、字幕を強制的に表示するディスクもあります。

斜体字はお買い上げ時の設定です。

表示の設定

設定項目	設定内容	
画面表示言語	***日本語***	操作表示（**再生**、**停止**など）を日本語で表示するときに選びます。
	English	操作表示（**再生**、**停止**など）を英語で表示するときに選びます。
アングルマーク表示	***オン***	テレビ画面にマークを表示するときに選びます。
	オフ	テレビ画面にマークを表示しないときに選びます。
画面表示	***オン***	テレビ画面に操作表示 (**再生**、**停止**など) を表示するときに選びます。
	オフ	テレビ画面に操作表示 (**再生**、**停止**など) を表示しないときに選びます。

斜体字はお買い上げ時の設定です。

オプションの設定

設定項目	設定内容	
コントロール機能	***オン***	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで本機を操作するときに選びます。詳しくは、15ページの「コントロール機能について」をご覧ください。
	オフ	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで本機を操作しないときに選びます。
視聴制限	**暗証番号**	視聴が制限されているディスクを再生するために必要な暗証番号を登録（変更）します。詳しくは、33ページの「暗証番号を登録（変更）する」をご覧ください。
	レベル変更	本機の視聴制限のレベルを変更します。詳しくは、33ページの「視聴制限のレベルを変更する」をご覧ください。
	国コード	国 /地域を変更します。42ページの「国 / 地域コード表」を見ながら操作します。
DivX VOD	**Activate**	DivX VOD ファイルを再生するときに必要な、本機の登録コードを表示します。
	Deactivate	VOD の無効化コードを表示します。
• DivX VOD ファイルは、DRM で保護されています。登録されている機器以外では再生できません。 • DivX VOD ファイルに登録コードが承認されていないときは再生できません。再生すると、テレビ画面に **Authorization Error**と表示されます。 • 視聴できる回数が限られている DivX VOD ファイルもあります。再生すると、残数がテレビ画面に表示されます。残数が 0 回のときは、**Rental Expired**と表示されます。		
オートパワーオフ	***オン***	自動で電源をオフにするときに選びます (30 分以上何も操作しないと自動で電源がオフになります)。
	オフ	自動で電源をオフにしないときに選びます。

斜体字はお買い上げ時の設定です。

その他の言語を選んだとき

136言語から選びます。42ページの「言語コード表」を見ながら操作します。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。

1　その他の言語を選ぶ

⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

2　言語表またはコードを選ぶ

⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

- コード番号しか表示されない言語があります。詳しくは、42ページの「言語コード表」をご覧ください。

3　言語コードを選ぶ

⬆/⬇ボタンまたは **数字 (0 ～ 9)** ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

暗証番号を登録（変更）する

視聴制限のレベルを設けたDVD ビデオがあります（ディスクジャケットなどで確認できます）。本機のレベルを DVD ビデオよりも小さく設定すると、視聴を制限できます。

1　暗証番号を選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

2　暗証番号を入力する

数字（0 ～ 9）ボタンで入力して、**決定**ボタンを押します。

- 暗証番号を変更するときは、登録済みの暗証番号を入力してから新しい暗証番号を入力します。

メモ

- 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、本機の設定をお買い上げ時の設定に戻してから再度暗証番号を登録してください。
- 視聴制限されている場面を飛ばして再生するDVD ビデオもあります。
- 再生中に暗証番号を入力する画面が表示されるDVD ビデオもあります。再生を続けるときは、暗証番号を入力してください。

視聴制限のレベルを変更する

1　レベル変更を選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

2　暗証番号を入力する

数字（0 ～ 9）ボタンで入力して、**決定**ボタンを押します。

3　レベルを変更する

⬅/➡ボタンで選んで、 **決定**ボタンを押します。

視聴制限の国 / 地域コードを変更する

42ページの「国 / 地域コード表」を見ながら操作します。

1　国コードを選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

2　暗証番号を入力する

数字（0 ～ 9）ボタンで入力して、**決定**ボタンを押します。

3　国コードを選ぶ

⬆/⬇ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、43ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作することがあります。
- 弊社ホームページにも本機の取り扱いについてのQ&Aを掲載していますので、あわせてご覧ください。http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html

一般

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているときに電源コードを強制的に抜いていませんか？	本機の電源がオンのとき、電源コードを抜くまたは停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体前面部の⏻ **STANDBY/ON**ボタン、またはリモコンの⏻ **電源** ボタンを押して、本体表示窓の **- OFF -**が消えてから抜いてください。特に、他機器のACアウトレットに本機の電源コードを接続しているときは、その機器の電源と連動して本機の電源がオフになりますのでご注意ください。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。
DVDとCDで音量差を感じる。	本機の不具合ではありません。	ディスクの記録方式の違いにより音量差を感じることがあります。
リモコンで操作できない。	本機から離れた場所で操作していませんか？	リモコン受光部との距離が7 mの範囲で操作してください。
	リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていませんか？	リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。
	電池がなくなっていませんか？	電池を交換してください。（6ページ）
ディスクが再生できない、またはディスクトレイが自動で開く。	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください。（45ページ）
	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていますか？	印刷面を上にしてセットしてください。
		ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください。
	リージョンナンバーは正しいですか？	本機で再生できるリージョンナンバーは、「2（2を含む）」または「ALL」です。
	湿気の多い場所に設置していませんか？	内部が結露している可能性があります。結露が消えるまでお待ちください。なお、エアコンなどの近くに設置しないでください。（44ページ）

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が自動でオフになる	**オートパワーオフ**が***オン***に設定されていませんか？	**オートパワーオフ**が***オン***に設定されているときは、30 分以上何も操作しないと本機の電源が自動でオフになります。(32ページ)
電源が自動でオンまたはオフする。	**コントロール機能**が***オン***に設定されていませんか？	**HDMI 出力**端子に接続しているテレビの電源をオンまたはオフにすると、連動して本機の電源がオンまたはオフになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオンまたはオフにしたくないときは、**コントロール機能**を**オフ**に設定してください。(32ページ)
接続しているテレビや AV アンプなどの入力が自動で切り換わる。	**コントロール機能**が***オン***に設定されていませんか？	本機が再生を開始したり本機の操作画面(ホームメニューなど)を表示すると、HDMI 出力端子に接続されたテレビや AV アンプの入力が自動で本機に切り換わることがあります。テレビや AV アンプの入力を自動で切り換えたくないときは**コントロール機能** を**オフ**に設定してください。
映像が映らない。	ビデオコードが正しく接続されていますか？	コードを奥までしっかり差し込んでください。
	ビデオコードが断線していませんか？	断線していたときは、新しいコードと交換してください。
	接続しているテレビ、または AV アンプの入力は正しいですか？	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
映像が伸びている、または縦横比が切り換えられない。	接続しているテレビの縦横比は正しく設定されていますか？	テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。
	テレビ画面は正しく設定されていますか？	**テレビ画面**を正しく設定してください。(29ページ)
	S 映像ケーブルでテレビと接続していませんか？	S2 映像出力に対応していないテレビと S 映像ケーブルで接続すると、映像が正しく映らないことがあります。このときは S 映像ケーブル以外で接続してください。
再生中に映像が乱れる、または映像が暗い。	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください。(45ページ)
	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	本機の不具合ではありません。	本機はロヴィコーポレーションのコピープロテクトに対応しています。テレビによっては、コピー禁止信号が記録されているディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。
	本機とテレビをビデオデッキを経由して接続していませんか？	ビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、本機のアナログコピープロテクトによってビデオデッキで再生した映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください。
再生が一瞬止まる、または正しく再生されない。	DVD レコーダーなどで編集したディスクを再生していませんか？	編集した映像を再生すると、映像のつなぎ目で一瞬止まることがあります。また、編集したとおりに再生されないことがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
音声が出力されない、または歪む。	一時停止、コマ送り /コマ戻し再生、またはスロー再生していませんか？	一時停止、コマ送り /コマ戻し、またはスロー再生中は音声が出力されません。
	接続している機器(AVアンプなど)は正しく設定されていますか？	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、音量、入力、およびスピーカーの設定などを確認してください。
	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください。(45ページ)
	オーディオコードが正しく接続されていますか？	コードを奥までしっかり差し込んでください。
	オーディオコードが断線していませんか？	断線していたときは、新しいコードと交換してください。
	他機器（AVアンプなど）と正しく接続されていますか？	他機器の音声出力端子などに接続していないか確認してください。
		AVアンプのPHONO入力端子などに接続していないか確認してください。
	デジタル音声出力端子に他機器（AVアンプなど）を接続していませんか？	**デジタル音声出力**端子を接続しているときは、**デジタル出力**を**オン**に設定してください。(28ページ)
		接続しているAVアンプなどの取扱説明書をご覧になり、対応している音声を確認してください。
		デジタル音声出力をAVアンプなどが対応している音声に合わせて設定してください。(28ページ)
デジタル音声出力端子からデジタル音声が出力されない。	**デジタル出力**は***オン***に設定されていますか？	**デジタル音声出力**端子を接続しているときは、**デジタル出力**を**オン**に設定してください。(28ページ)
マルチチャンネル音声が出力されない。	接続しているAVアンプなどの音声出力は正しく設定されていますか？	接続しているAVアンプなどの取扱説明書をご覧になり、音声出力の設定を確認してください。
		メニュー画面または**音声**ボタンでディスクの音声をマルチチャンネル音声に切り換えてください。
	デジタル音声出力が接続しているAVアンプなどが対応している音声に設定されていますか？	接続しているAVアンプなどの取扱説明書をご覧になり、対応している音声を確認してください。
		デジタル音声出力をAVアンプなどが対応している音声に合わせて設定してください。(28ページ)

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
DTS 音声が出力されない。	正しく接続されていますか？	AV アンプなどを**デジタル音声出力**端子に正しく接続してください。
	接続している AV アンプなどが DTS 音声に対応していますか？	接続している AV アンプなどが DTS 音声に対応していないときは **DTS 出力**を**オフ**に設定してください。 (28ページ)
	接続している AV アンプなどの音声出力は正しく設定されていますか？	接続している AV アンプなどが DTS 音声に対応しているときは、AV アンプなどの音声出力を DTS 音声が出力できる設定に変更してください。
デジタル音声出力端子から 96 kHz/88.2 kHz のデジタル音声が出力されない。	**96kHz PCM 出力**が **96kHz**に設定されていませんか？	**96kHz PCM 出力**を ***96kHz > 48kHz*** に設定してください。
	著作権保護されているディスクを再生していませんか？	著作権が保護されているディスクの 96 kHz/88.2 kHz のデジタル音声は出力できません。
フォルダ名またはファイル名が認識されない。	本機が認識できるフォルダ名またはファイル名の最大数を超えていませんか？	フォルダ名は 1 枚のディスクで最大 299フォルダまで認識できます。ファイル名は 1 フォルダ内に最大 648ファイルまで認識できます。ただし、フォルダの構成によってはフォルダまたはファイルを認識できないことがあります。
フォルダ名またはファイル名が表示されない、または正しく表示されない。	フォルダ名またはファイル名が半角英数字以外で入力されていませんか？	半角英数字以外の文字は表示できません。また、半角英数字以外で入力されているフォルダまたはファイル名は、**F_001**または **FL_001**などに置き換えて表示されることがあります。また、文字化けして表示されることもあります。
JPEG ファイルの再生に時間がかかる。	容量が大きいファイルを再生していませんか？	容量が大きいファイルは再生するまでに時間がかかることがあります。
JPEG ファイルを再生すると、黒い帯が付いて表示される。	縦横比の異なるファイルを再生していませんか？	縦横比が異なる JPEG ファイルを再生したときは、画像の縦または横に黒い帯を付けて表示することがあります。

HDMI 対応機器と接続しているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
HDMI インジケーターが点灯しない。	DVI 機器を接続していませんか？	DVI 機器を接続すると、映像が正しく映らないことがあります。
	接続している HDMI 対応機器の入力は正しいですか？	HDMI対応機器の取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
映像が映らない。	解像度が正しく設定されていますか？	接続している機器に合わせて **HDMI 画素数**を設定してください。（30ページ）
		HDMI 画素数をお買い上げ時の設定（***720x480p***）に戻してください。（30ページ）
	HDMI ケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルは奥までしっかり差し込んでください。
		ケーブルによっては、1 080 p の映像が出力されないことがあります。
	HDMI ケーブルが断線していませんか？	断線していたときは、新しいケーブルと交換してください。
	DVI 機器を接続していませんか？	DVI 機器を接続すると、映像が正しく映らないことがあります。
音声が出力されない、または歪む。	**HDMI 出力**が正しく設定されていますか？	**HDMI 出力**を LPCM（2CH）または ***自動***に設定してください。（28ページ）
マルチチャンネル音声が出力されない。	**HDMI 出力**が正しく設定されていますか？	**HDMI 出力**を***自動***に設定してください。（28ページ）
テレビ画面の色が正しく映らない。	**HDMI カラー**が正しく設定されていますか？	**HDMI カラー**の設定を変更してください。（30ページ）
	接続しているテレビの入力は正しく設定されていますか？	テレビの取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
コントロール機能が働かない。	お使いのHDMI ケーブルはHigh Speed HDMI™ケーブルですか？	High Speed HDMI™ ケーブルをお使いください。それ以外のHDMI ケーブルではコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
	本機の**コントロール機能**が***オン***に設定されていますか？	本機の**コントロール機能** を***オン*** に設定してください。（32ページ）
	接続している機器がコントロール機能に対応していますか？	他社の機器とHDMIケーブルで接続しても、コントロール機能は働きません。
		コントロール機能に対応している機器と本機の間にコントロール機能に対応していない機器、または他社の機器が接続されているときは働きません。
		コントロール機能に対応しているパイオニア製の機器と接続しても、機能によっては働かないことがあります。
		接続している機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
	接続している機器の**コントロール機能**が***オン***に設定されていますか。	接続している機器のコントロール機能をオンに設定してください。コントロール機能は、**HDMI出力**端子に接続されているすべての機器のコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。接続および各機器の設定が終わったら、本機の映像がフラットテレビに出力されているか必ず確認してください（接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください）。本機の映像がフラットテレビに正しく出力されていないと、コントロール機能が正常に動作しないことがあります。詳しくは、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。
	複数のプレーヤーを接続していませんか？	本機を含めて3 台以上のプレーヤーがHDMI ケーブルで接続されていると、働かないことがあります。
CEC200メッセージが表示される。	本機の電源がオフになっていませんか？	フラットスクリーンテレビのリモコンを操作してディスクナビゲーターを選んだときに、本機の電源がオフになっているとCEC200メッセージが表示されます。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。

USB 機器を接続しているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
USB 機器を認識しない。	USB 機器が正しく接続されていますか。	奥までしっかり差し込んでください。
	USB ハブを経由して接続していませんか？	USB ハブには対応していません。USB 機器は直接接続してください。
	本機が対応している USB 機器ですか。	USB マスストレージクラスの機器にだけ対応しています。
		携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器に対応しています。
		対応しているファイルシステムは、FAT16 および FAT32 だけです。その他のファイルシステム (exFAT および NTFS など) には対応していません。
		本機にパソコン、USB ドライブ、USB カードリーダーなどを接続しても再生できません。
	お使いの USB 機器に異常はありませんか？	電源をオンし直してください。
		お使いの USB 機器によっては、正しく認識できないことがあります。
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護（DRM）されていませんか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
	本機の不具合ではありません。	パソコンに記録されているファイルは再生できません。
		ファイルによっては、再生できないことがあります。
フォルダ名またはファイル名が表示されない、または正しく表示されない。	フォルダー名またはファイル名に日本語が含まれていませんか。	日本語は表示できません。
	フォルダ名またはファイル名が 14 文字を超えていませんか？	ディスクナビゲーターに表示できるフォルダ名またはファイル名は最大 14 文字までです。
フォルダ名またはファイル名がアルファベット順に表示されない。	本機の不具合ではありません。	ディスクナビゲーターに表示されるフォルダ名またはファイル名の順番は、USB 機器にフォルダまたはファイルを記録したときの状態に依存します。
USB 機器の認識に時間がかかる。	USB 機器の容量はどれくらいですか。	容量の大きい USB 機器を接続したときは、読み込みに時間がかかることがあります（数分かかることもあります）。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
USB 機器に電源が供給されない。	消費電力が大きいと電源が供給されません。	電源をオンし直してください。
		電源をオフにして、USB 機器を接続し直してください。
		DVD/USBボタンを押して入力を DVD モードに戻してから、もう一度 USB モードに切り換えてください（入力を DVD モードに戻すと本体表示窓に **LOADING**と表示され、ディスクを認識します。入力を USB に戻すと本体表示窓に **USB MODE**と表示されます）。
		USB 機器に AC アダプターが付属しているときは、AC アダプターを接続してお使いください。
USB 機器に音楽 CD のトラックが録音できない。	USB 機器の空き容量は足りていますか。	USB 機器の残量が足りないときは、録音できません。**USB の空き容量が足りません**と表示されます。
	USB 機器にフォルダが 300個以上ありませんか。	USB 機器に 300個以上フォルダーがあるときは、録音できません。
	USB 機器に PIONEER フォルダがすでに 99 個ありませんか。	USB 機器に PIONEER フォルダがすでに 99 個あるときは録音できません。

言語および国 /地域コード表

言語コード表

言語名（言語コード）、入力コード

Japanese (ja) , **1001**
English (en) , **0514**
French (fr) , **0618**
German (de) , **0405**
Italian (it) , **0920**
Spanish (es) , **0519**
Chinese (zh) , **2608**
Dutch (nl) , **1412**
Portuguese (pt) , **1620**
Swedish (sv) , **1922**
Russian (ru) , **1821**
Korean (ko) , **1115**
Greek (el) , **0512**
Afar (aa) , **0101**
Abkhazian (ab) , **0102**
Afrikaans (af) , **0106**
Amharic (am) , **0113**
Arabic (ar) , **0118**
Assamese (as) , **0119**
Aymara (ay) , **0125**
Azerbaijani (az) , **0126**
Bashkir (ba) , **0201**
Byelorussian (be) , **0205**
Bulgarian (bg) , **0207**
Bihari (bh) , **0208**
Bislama (bi) , **0209**
Bengali (bn) , **0214**
Tibetan (bo) , **0215**
Breton (br) , **0218**
Catalan (ca) , **0301**
Corsican (co) , **0315**
Czech (cs) , **0319**
Welsh (cy) , **0325**
Danish (da) , **0401**
Bhutani (dz) , **0426**
Esperanto (eo) , **0515**
Estonian (et) , **0520**
Basque (eu) , **0521**
Persian (fa) , **0601**
Finnish (fi) , **0609**
Fiji (fj) , **0610**
Faroese (fo) , **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga) , **0701**
Scots-Gaelic (gd) , **0704**
Galician (gl) , **0712**
Guarani (gn) , **0714**
Gujarati (gu) , **0721**
Hausa (ha) , **0801**
Hindi (hi) , **0809**
Croatian (hr) , **0818**
Hungarian (hu) , **0821**
Armenian (hy) , **0825**
Interlingua (ia) , **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik) , **0911**
Indonesian (in) , **0914**
Icelandic (is) , **0919**
Hebrew (iw) , **0923**
Yiddish (ji) , **1009**
Javanese (jw) , **1023**
Georgian (ka) , **1101**
Kazakh (kk) , **1111**
Greenlandic (kl) , **1112**
Cambodian (km) , **1113**
Kannada (kn) , **1114**
Kashmiri (ks) , **1119**
Kurdish (ku) , **1121**
Kirghiz (ky) , **1125**
Latin (la) , **1201**
Lingala (ln) , **1214**
Laothian (lo) , **1215**
Lithuanian (lt) , **1220**
Latvian (lv) , **1222**
Malagasy (mg) , **1307**
Maori (mi) , **1309**
Macedonian (mk) , **1311**
Malayalam (ml) , **1312**
Mongolian (mn) , **1314**
Moldavian (mo) , **1315**
Marathi (mr) , **1318**
Malay (ms) , **1319**
Maltese (mt) , **1320**
Burmese (my) , **1325**
Nauru (na) , **1401**
Nepali (ne) , **1405**
Norwegian (no) , **1415**
Occitan (oc) , **1503**
Oromo (om) , **1513**
Oriya (or) , **1518**
Panjabi (pa) , **1601**
Polish (pl) , **1612**
Pashto, Pushto (ps) , **1619**
Quechua (qu) , **1721**
Rhaeto-Romance (rm) , **1813**
Kirundi (rn) , **1814**
Romanian (ro) , **1815**
Kinyarwanda (rw) , **1823**
Sanskrit (sa) , **1901**
Sindhi (sd) , **1904**
Sangho (sg) , **1907**
Serbo-Croatian (sh) , **1908**
Sinhalese (si) , **1909**
Slovak (sk) , **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn) , **1914**
Somali (so) , **1915**
Albanian (sq) , **1917**
Serbian (sr) , **1918**
Siswati (ss) , **1919**
Sesotho (st) , **1920**
Sundanese (su) , **1921**
Swahili (sw) , **1923**
Tamil (ta) , **2001**
Telugu (te) , **2005**
Tajik (tg) , **2007**
Thai (th) , **2008**
Tigrinya (ti) , **2009**
Turkmen (tk) , **2011**
Tagalog (tl) , **2012**
Setswana (tn) , **2014**
Tonga (to) , **2015**
Turkish (tr) , **2018**
Tsonga (ts) , **2019**
Tatar (tt) , **2020**
Twi (tw) , **2023**
Ukrainian (uk) , **2111**
Urdu (ur) , **2118**
Uzbek (uz) , **2126**
Vietnamese (vi) , **2209**
Volapuk (vo) , **2215**
Wolof (wo) , **2315**
Xhosa (xh) , **2408**
Yoruba (yo) , **2515**
Zulu (zu) , **2621**

国 / 地域コード表

国 /地域名、入力コード、および国 /地域コード

アメリカ , **2119**, us
アルゼンチン , **0118**, ar
イギリス , **0702**, gb
イタリア , **0920**, it
インド , **0914**, in
インドネシア , **0904**, id
オーストラリア , **0121**, au
オーストリア , **0120**, at
オランダ , **1412**, nl
カナダ , **0301**, ca
韓国 , **1118**, kr
シンガポール , **1907**, sg
スイス , **0308**, ch
スウェーデン , **1905**, se
スペイン , **0519**, es
タイ , **2008**, th
台湾 , **2023**, tw
中国 , **0314**, cn
チリ , **0312**, cl
デンマーク , **0411**, dk
ドイツ , **0405**, de
日本 , **1016**, jp
ニュージーランド , **1426**, nz
ノルウェー , **1415**, no
パキスタン , **1611**, pk
フィリピン , **1608**, ph
フィンランド , **0609**, fi
メキシコ , **1324**, mx
ロシア , **1821**, ru
ブラジル , **0218**, br
フランス , **0618**, fr
ベルギー , **0205**, be
ポルトガル , **1620**, pt
香港 , **0811**, hk
マレーシア , **1325**, my

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご連絡ください。本品は持ち込み修理対応製品です。故障して修理をお受けになる場合は、パイオニアサービス窓口またはお買い求めの販売店に製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代は、有料とさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD プレーヤー
- 型番：DV-420V
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

本機を移動するとき

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出してからディスクトレイを閉じてください。さらに本体の ⏻ **STANDBY/ON**ボタン（またはリモコンの ⏻ **電源**ボタン）を押し、本体表示窓の **- OFF -**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。また、カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりやタバコの煙の多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物を載せない

本機の上に物を載せないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合は、アンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は５°C～35°C、使用環境湿度は 85 %以下 (通風孔が妨げられていないこと) です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

⚠ **注意**

本機を設置する場合には、壁から５ cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から１ cm 以上、背面から５ cm 以上、側面から 1cm以上のすき間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

本機を使わないときは電源を切る

本機の電源がオンのときに、電波の状態によってはテレビ画面にしま模様が出たり、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。このようなときは本機の電源を切ってください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

- お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本体は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあります。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせるとキャビネットを傷めます。
- 化学ぞうきんなどを使うときは、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよく読んでください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ▲ **開 / 閉**ボタンを押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、お近くのパイオニアサービスセンターに清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

著作権について

本機は、ロヴィコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはロヴィコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

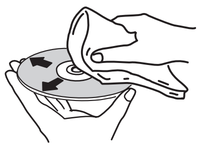
ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

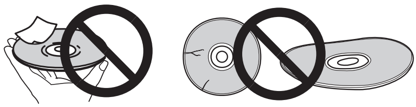
ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞り汚れを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

用語解説

DRM（Digital Rights Management）
デジタルデータの著作権を保護する技術です。デジタル化された動画、画像、または音声などの品質は、複製や送受信の繰り返しによって劣化しません。このようなデジタルデータを著作者の許諾なしで流通や再生することを制限するための技術です。

Exif（Exchangeable Image File Format）
富士フイルム株式会社が開発した、デジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです。撮影や画像に関する情報（撮影日など）とサムネイル画像が収録されています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
パソコンのディスプレイなどで使用されている DVI (DigitalVideo Interface) 端子を拡張した、次世代テレビ向けのデジタルインターフェイス規格です。圧縮されていないデジタル映像、および音声 (ドルビーデジタル、DTS、MPEG、リニア PCM など) を 1 つのコネクターで伝送できます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、MPEG-1Video・MPEG-2 Video・MPEG-4 Visual・MPEG-4AVC などがあります。音声の規格には、MPEG-1 Audio・MPEG-2 Audio・MPEG-2 AAC などがあります。

インターレーススキャン（飛び越し走査）
映像の 1 画面を 2 回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面（フレーム）を表示します。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて（480i など）表記してあります。

サウンドレトリバー
WMA、MP3、または MPEG-4 AAC の音声ファイルを圧縮したときに失われた音を補完する音質補正技術です。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、音声レベルの最大値と最小値の差のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する (オーディオ DRC) と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しめます。

プログレッシブスキャン（順次走査）
映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「p」を付けて (480p など) 表記してあります。

マルチセッション
マルチセッション /マルチボーダーとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッション /ボーダーデータを記録する方法です。ディスクにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッション /ボーダーといいます。

リニア PCM
圧縮しない音声信号です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオによく使用されます。48kHz/16 bit、96 kHz などの表示があることもあります。

仕様

電源.................................AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 11 W
待機時消費電力... 0.7 W
本体質量 .... 1.8 kg
外形寸法
... 420 mm（幅）× 49.5 mm（高さ）× 215 mm（奥行）
許容動作温度.............................. ＋ 5 ゜C ～＋ 35 ゜C
許容動作湿度............5 %～ 85 %（結露のないこと）

S2 映像出力

Y 出力レベル.....................................1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル........................... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 ....S 端子

映像出力

出力レベル..1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 ....RCA 端子

コンポーネント映像出力 (Y, C_B/P_B, C_R/P_R)

Y 出力レベル.....................................1 Vp-p（75 Ω）
C_B/P_B、C_R/P_R出力レベル ....0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 ....RCA 端子

HDMI 出力

出力端子 .... 19 ピン

音声出力（ステレオ左 /右）

音声出力レベル ...200 mVrms（1 kHz、－ 20 dB）
出力端子 ....RCA 端子
周波数特性... 4 Hz ～ 44 kHz

デジタル音声出力

光デジタル出力.....................................光デジタル端子
同軸デジタル出力 ....RCA 端子

その他

USB 端子 ....A タイプ

メモ

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機では、画面表示にNECのフォント「FontAvenue」を使用しています。FontAvenue は NEC の登録商標です。

愛情点検



長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆北海道サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東関東サービスセンター	FAX　047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX　045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX　06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX　078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX　075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX　082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX　086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX　0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX　087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX　088-655-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1 F
松山サービス認定店	FAX　089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX　092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX　093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX　0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX　099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1 F

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	TEL　098-987-1120 FAX　098-987-1121	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5

平成22年3月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120－944－222　一般電話　044－572－8102

■ファックス　044－572－8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120－5－81028（ゴーハパイオニア）　一般電話　044－572－8100

■ファックス　フリーコール 0120－5－81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－987－1120

■ファックス　098－987－1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120－5－81095　一般電話　0538－43－1161

■ファックス　フリーコール 0120－5－81096

平成22年3月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.038

J2M90401A SH10/05 Ⓚ

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号